

支援活動の知見を生かした
ソリューションを提案



SAGAWA 防災支援サービスについては
こちらからお問い合わせください



物流改善によって危機対応能力の向上に貢献

SAGAWA 防災支援サービス



備蓄品の管理・保管・運用まで
幅広くサポート



ミックス
紙に責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022337



SIAA
ISO 22196
抗菌加工
無機抗菌剤・印刷
基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・
情報公開された製品に表示されています。

この印刷物のFSC®ラベルは、
世界の森林資源の責任ある利用を保証します。

環境対応型インキの植物油インキで印刷しています。

佐川急便株式会社
<https://www.sagawa-exp.co.jp/>

初版 2024年10月

SgH | SAGAWA

Grow the new Story.
新しい物流で、新しい社会を、共に育む。

佐川急便の災害支援活動

1995年1月。



阪神・淡路大震災

当時戦後最大の大惨事とされたこの時の経験が、佐川急便の災害支援活動のはじまりとなりました。



支援物資輸送の模様



駅を臨時の集積場として活用



物資を積んで走るトラック



ヘリコプターで物資をピストン輸送

国が定める指定公共機関に認定

2011年3月。

救援物資 輸送中

2013年10月



グループ各社が連携して支援物資を輸送

九州北部豪雨

支援要請元：朝倉市（福岡県）

2016年4月。

西日本豪雨

支援要請元：三原市（広島県）



グループの力を結集し、物資の入荷から保管、配送までサポート



避難所へ大量の支援物資を配送（千葉県）



丸森町では避難所へ食料などを配送（宮城県）

房総半島台風 東日本台風

支援要請元：千葉県、宮城県丸森町



ここでも、佐川急便一社だけではなく、専門性を持つグループ各事業会社が合同で対応



東日本大震災

支援要請元：
日本政府の緊急災害対策本部



自衛隊の先導を受け、被災地に向かう当社の救援部隊

支援物資輸送の模様

熊本地震

支援要請元：熊本県、熊本市



全国から集まった支援物資（中央区）

いち早く再開した営業所受取サービス



自衛隊やボランティアの方々と協力し、支援物資の輸送、保管・管理を実施

能登半島地震

支援要請元：石川県、金沢市、七尾市、能登町、
中能登町、羽咋市、穴水町、珠洲市

支援活動の動画
はこちらから



2018年7月

伊豆山土石流災害

支援要請元：熱海市（静岡県）

支援活動の動画はこちから

2019年9月～10月

2021年7月

2024年1月。

数々の災害支援活動を通じて、有事に適切な対応を行うためには事前の防災対策が重要であることが教訓として分かりました。次ページからは佐川急便にできる防災対策について紹介させていただきます。



災害支援活動について
まとめた動画を
左の二次元コードから
ご覧いただけます

防災対策のお悩みを SAGAWA が解決



有事の際に備える「防災対策」について、こんなお悩みはございませんか？
どれも自治体や企業のご担当者の皆さんにとって、事前の対応が不可欠な課題ばかりです。
ですが、ご担当とは言え「防災対策の専門家」ではない方がほとんどではないでしょうか。

その課題、実は佐川急便が解決方法を知っているんです。

倉庫にある備蓄品在庫、
手元のリストが古いため、
現時点での実際の在庫が
分かっていないんだよな…

▶ 4ページ ポイント 01 へ



倉庫内に保管している
備蓄品の配置状況、
誰か把握している人は
いるのかな…？

▶ 4ページ ポイント 03 へ



防災対策って何をすれば
いいのかよく分かっていなくて…。
倉庫や備蓄品、今まで
準備は足りているのかな…？

▶ 6ページへ



備蓄品倉庫がぐちゃぐちゃ…。
これではいざというときに
使えないから、事前に
整理をしておきたいんだけど…

▶ 4ページ ポイント 02 へ



水や食料などの備蓄品、
ずっと倉庫にあるけれど、
賞味期限切れが心配…。
大丈夫かしら…？

▶ 5ページ ポイント 04 へ



今まで数々の災害支援に
その知見を生かした

携わってきた佐川急便が
ソリューションを提案

備蓄品の
管理・保管・運用

物流
コンサルティング

BCP対策

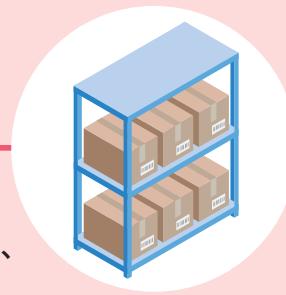
自治体などとの連携

SAGAWAがプロ目線の 防災対策プランをご案内

防災対策 備蓄品の管理

いざ災害が起った場合、さまざまな被害が生じることが考えられます。しっかりと防災対策をしておくことで、有事の際の混乱を少しでも軽減できるよう、佐川急便が備蓄品に関するお手伝いをさせていただきます。

佐川急便なら備蓄品の管理・保管、さらには運用までサポートできます。



ポイント 01 備蓄品の棚卸



備蓄品の数量が多く、棚卸が大変…とお困りではありませんか？
そういう場合でも、佐川急便が備蓄品の現状把握のため、
お手元のリストと実在庫の照合数量をカウントして報告します。



手間のかかる棚卸を
佐川急便がサポート

ポイント 04 備蓄品の期限管理



賞味期限、使用期限のある備蓄品をカウントして報告します。
いざというときに期限切れで使用できないケースを避けるため、
必要なときに必要な物が使えるよう、事前に期限を把握しておく
ことが重要です。
佐川急便が、無駄なく効率の良い在庫管理をサポートします。



ポイント 02 倉庫内の整理整頓



拠点となる倉庫内の備蓄品は、正しく保管されていますか？
佐川急便は、培ってきたノウハウを生かした「荷崩れしにくい・
内容品を把握しやすい積み方」で備蓄品を整理するなど、平時に
おける管理のしやすさに加え、有事に備えた適正配置と適正在庫
を実現します。

例えば…

荷崩れしにくい
積み方

導線・
スペース確保

簡易清掃

ポイント 05 備蓄品の調達



佐川急便では、災害備蓄品の調達・保管・全国配送が可能です。
全国650力所の税務署や国税局へ備蓄食品やハード品（トイレ
やヘルメット）を調達し、配達した実績もございます。また、賞味
期限間近の備蓄品を寄贈もしくは買取業者に買い取ってもらう
など、備蓄品の再流通支援も可能ですので、ぜひご相談ください。



ポイント 03 配置レイアウトの作成

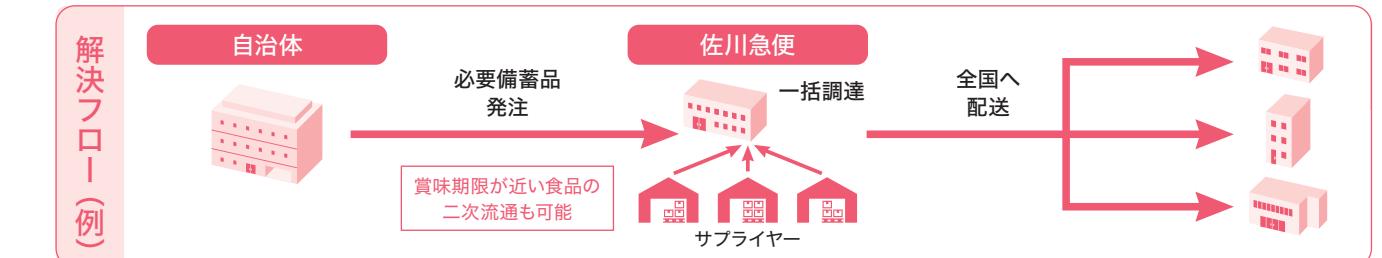


どの備蓄品が、どこに、どれだけ保管されているのか、正確に
把握していますか？
佐川急便では、災害時の拠点となる保管倉庫内のレイアウト図
を作成させていただき、備蓄品の配置状況を可視化。有事の際
に迅速な対応が可能になります。

備蓄品の
現状を把握

使用頻度の
検討

レイアウトを
最適化



さらに！ 佐川急便ならここまで対応可能です



データ納品

品目ごとの数量・期限データ、倉庫内のレイアウトマップをはじめとした
備蓄品管理状況は、データにて納品させていただきます。

物流コンサルティング

物流を支える事業者として佐川急便が培ってきたノウハウを生かし
「防災対策のコンサルティング」として幅広くサポートさせていただきます。



01 物資拠点の現状を分析

拠点診断のポイント

- 物資拠点の分析
- 実際に想定している物資の搬入・搬出路や保管場所の確認
- 運営場所や運営資機材の確認、課題抽出



02 分析に基づく改善案の提示

物資拠点のご提案

立地やアクセスなどの診断に加え、ハザードリスクや施設規模を考慮した拠点診断など、物資拠点に関してトータルでご提案可能です。

倉庫のご提案

保管場所が手狭だったり、利用しにくい場所にある場合、別の保管倉庫をご提案することも可能です。



03 資機材のご提案

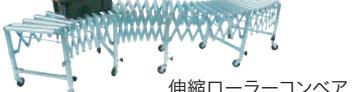
佐川急便では災害支援用のマテハン機器を各種ご用意しています。

● 物資の搬入・搬出に役立つ資機材



搬入口に段差があったり、車両が近くに寄れない構造だと、搬入作業は困難となります。

段差には、ローラーコンベアを活用することで、負担を軽減できます。



下記のような物流倉庫を選定することも重要です。

- 車両をスムーズに着車できる
- フォークリフトで荷役作業を行える

車両が搬入口の近くに寄れない



● 物資の整理整頓に役立つ資機材



物資で溢れかえった
体育館も…

マテハン機器の
活用で整理整頓
・スペース確保



導入後



導入前

マテハン機器の
活用で整理整頓
・スペース確保

代表的なマテハン機器



04 物資輸送訓練の企画・運営・評価

資機材を事前にご用意いただくことで、有事の際の避難所支援にお役立ていただけます。また、実際に訓練などでご使用いただくことで、事前に使用感を確認することも可能です。

伸縮ローラーコンベアを使用した物資輸送訓練



05 物資供給に関するマニュアルの作成

マニュアルを見直すことで、有事の対応を円滑に進めるためのアドバイスが可能です。

例えば…

● 物資供給体制の在り方



● 支援物資の基本的な流れ



● 物資拠点運営上の基本的ルール



佐川急便のコンサルティングをご利用いただくと…

有事の際の実効性向上



平時から継続的に災害に備えた対策を行うことで有事の実効性を高める

現状の課題を可視化



今、何が足りていないかを分析することで課題を抽出し、改善につなげる

物流のプロによる課題解決提案



一般的な目線では見落としがちな課題も、佐川急便の知見を生かして解決へ導く

SAGAWAのBCP対策

東日本大震災の経験を基に、2013年にBCP(事業継続計画)を策定し、BCP関連投資などの対策推進、大規模災害訓練、行政・企業間におけるBC連携の実施など、実効性あるBCM(事業継続マネジメント)の構築・改善活動を進めています。



レジリエンス認証取得

当社は事業継続に積極的に取り組む姿勢が評価され、内閣官房国土強靭化推進室が創設した「レジリエンス認証」を、運輸業・郵便業では第一号として取得しています。



各種訓練

佐川急便では『重要リソースの確保』『情報伝達』『経営判断・指示』を中心とした各種訓練を、全社を挙げて行っています。



協定締結自治体との災害時支援物資輸送訓練

大規模災害対応訓練

エネルギー供給・停電対策

エネルギーの安定的な確保と供給体制維持および停電時の電力確保への備えとして、各種対策を取ることで、物流インフラの強靭化を図っています。



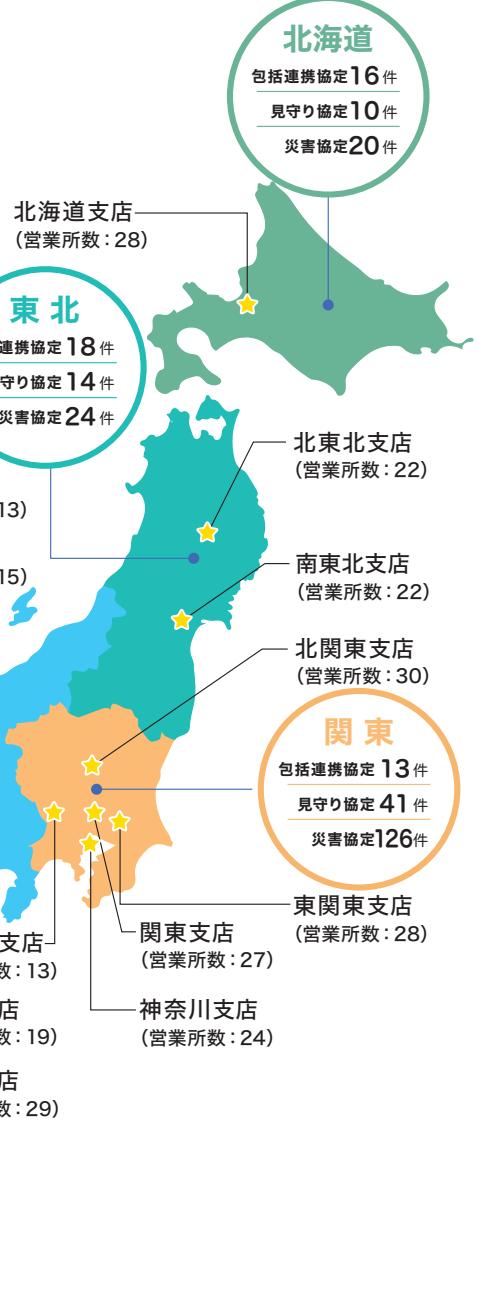
非常用電源車



緊急災害時用燃料油ポンプ(足こぎ式)の導入

自治体などの連携強化

佐川急便は、地方自治体、団体、企業などと協定を締結し、官民一体で地域社会の課題解決に向けて取り組んでいます。



佐川急便と各自治体との協定実績

包括連携協定

111 件

地域が抱える社会課題に対して、自治体と民間企業などが双方の強み・リソースを生かして協力しながら課題解決に対応するための枠組みです。

見守り協定

148 件

地域住民の皆さんのが安心して暮らせるように「見守り活動」を行うための協定です。日常業務において高齢者の方などの何らかの変更に気付いた場合に各所と連携して対応します。

災害協定

373 件

自治体・行政との災害協定を締結し、地域防災と、災害時における支援物資の輸配達、物資集積拠点の管理・運営、物資の保管・出入荷、コールセンターなどのサポート業務を総合的に行っていきます。

2024年7月31日時点